

財政シミュレーションについて

姫 路 市

1

1 財政シミュレーションの実施対象期間

- 公立大学法人化をR6年(2024年)4月としてシミュレーションする
- R6年(2024年)4月からR16年(2034年)3月までの公立大学法人化後10年間の財政シミュレーションとする

2 シミュレーションに関する設定数値

内容	設定数値
定員（単位：人）	【大学】人間社会学群：180、医療保健学部：140、薬学部：100、看護学部80 【大学院】言語教育研究科：15、法学研究科：10、経済情報研究科：10
授業料単価	535,800円/年 文科省「公立大学基礎データ」の「2020年度学生納付金調査結果」より、兵庫県下の公立大学の授業料平均を採用
入学金単価	282,000円/年 文科省「公立大学基礎データ」の「2020年度学生納付金調査結果」より、兵庫県下の公立大学の入学金平均を採用
検定料単価	大学：17,000円、大学院：27,000円 文科省「公立大学基礎データ」の「2020年度学生納付金調査結果」より、兵庫県下の公立大学の入学検定料平均を採用
地方交付税算定に係る単位費用	【令和2年度】 社会科学系：212,000円（人間社会学群,大学院） 保健系：1,721,000円（医療保健学部,薬学部,看護学部）

2

3 収入の前提条件

収入項目		前提条件
授業料収入	学生数	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公立大学法人化以前：現状の学生が増減なく、次学年へ進む ▶ 公立大学法人化以後：学部及び大学院の学年定員を入学者数として、退学率を反映して次学年へ進む
	単価	▶ 535,800円/年の単価を維持
入学金収入	入学者数	▶ 現状の学部及び大学院の学年定員を入学者数とする
	単価	▶ 282,000円/年の単価を維持
検定料収入	受験者数	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大学：学校法人から公立大学法人化した10校の入学志願倍率平均を基に、入学定員数×入学志願倍率により、受験者数を算出 ▶ 大学院：現在の定員を上限とする
	単価	▶ 大学：17,000円、大学院：27,000円（現状の単価を維持）
運営費交付金収入	高等教育無償化に伴う補助金含む	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地方交付税算定に係る単位費用（令和2年度）×学生数で算定 ※保健系学部の単位費用は毎年2%減少させる ▶ 高等教育無償化に伴う補助金の2020年度実績から2020年度学生数に対する当該年度の学生数比率によって無償化対象額を算定
その他収入	平均値	<ul style="list-style-type: none"> ▶ Covid-19の影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、横引きと仮定 ▶ 補助金等収入、寄付金等収入、雑収入、受取利息等

3

4 支出の前提条件

支出項目		前提条件
人件費	人数	▶ 教職員の人数は現状を維持する
	単価	▶ 他の公立大学を参考に設定
教育経費・研究経費	旅費交通費支出等	▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、教員数によって金額を変動
	消耗品費支出等	▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、学生数によって金額を変動
	損害保険料支出等	▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、横引き
管理経費		▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、職員数によって金額を変動
支払利息		▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、横引き
施設・設備関係支出		<ul style="list-style-type: none"> ▶ Covid-19影響を除く4か年(2016年度～2019年度)の平均実績を基礎に、横引き ▶ 大規模改修経費については、H23年3月財団法人自治総合センター「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書(公共施設及びインフラ資産の更新に係る費用を簡便に推計する方法に関する調査研究)」掲載の単価を用いて算定する

4

5 財政シミュレーション（経常のみ）

◆ 学生数・教職員数の推移 ※入学定員は500人のまま変更なし。大学設置基準上必要な専任教員数は130人 (単位：人)

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
学生数（大学院生含む） ^①	1,576	1,729	1,879	2,035	2,102	2,168	2,168	2,168	2,168	2,168
専任教員数 ^②	149	149	149	149	149	149	149	149	149	149
職員数（非常勤除く） ^③	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
①/②	10.6	11.6	12.6	13.7	14.1	14.6	14.6	14.6	14.6	14.6
①/③	32.8	36.0	39.1	42.4	43.8	45.2	45.2	45.2	45.2	45.2

◆ 財政シミュレーション

(単位：百万円)

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	
収入	学生納付金	928	1,006	1,059	1,127	1,153	1,188	1,186	1,184	1,185	1,185
	運営費交付金収入	1,677	1,816	1,964	2,116	2,171	2,221	2,172	2,124	2,076	2,027
	その他収入	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	収入計	2,627	2,844	3,045	3,265	3,346	3,431	3,380	3,330	3,283	3,234
支出	人件費	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217	2,217
	教育経費・研究経費	600	647	693	740	755	770	763	757	750	743
	管理経費・施設費等	350	347	343	340	337	334	330	327	324	321
	支出計	3,167	3,211	3,253	3,297	3,309	3,321	3,310	3,301	3,291	3,281
収支（収入計－支出計）	△540	△367	△208	△32	37	110	70	29	△8	△47	

10年間の収支計 △956百万円

5

6 大規模改修経費について

◆ 大規模改修の考え方について

- 本市の公共施設は建設後30年経過を目安に大規模改修を実施する
- 姫路獨協大学の施設の多くは、令和6年（2024年）4月の公立大学法人化時点で建設後30年を経過している
- 本シミュレーション対象期間の令和6年度から令和15年度の間は大規模改修の対象となる施設の改修費を算出する

◆ 大規模改修経費の試算について

- 大規模改修単価を設定し延床面積を乗じて算出する

◆ 大規模改修の対象について（本シミュレーション対象期間中）

主な施設名(延床面積1,000㎡以上)	構造・延床面積	竣工年度(取得年度)	建設後30年経過年度	改修対象
本部棟	RC・9,360.83㎡	1987年度	H29(2017)年度	対象
講義棟 I・II	RC・13,820.10㎡	1987年度	H29(2017)年度	
厚生棟	RC・2,447.59㎡	1987年度	H29(2017)年度	
図書館	RC・3,343.00㎡	1987年度	H29(2017)年度	
体育館	CES・2,497.53㎡	1987年度	H29(2017)年度	
学生会館	RC・1,998.00㎡	1995年度	R7(2025)年度	
改修対象 計	33,467.05㎡			
創立15周年記念館	RC・2,936.47㎡	2003年度	R15(2033)年度	対象外
医療保健学部棟	RC・8,416.61㎡	2005年度	R17(2035)年度	
薬学部棟	RC・7,465.23㎡	2006年度	R18(2036)年度	
看護学部棟	RC・3,031.24㎡	1998年度(2015年改修)	R27(2045)年度	

◆ 大規模改修計画について

大規模改修単価の設定

- 大規模改修単価(設計含む)
学校教育系施設 **18.7万円/㎡**
※H23年3月財団法人自治総合センター「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書(公共施設及びインフラ資産の更新に係る費用を簡便に推計する方法に関する調査研究)」掲載の単価(17万円/㎡：税抜)に消費税率(10%)を反映し試算

大規模改修計画の作成

- 大規模改修経費
33,467.05㎡×18.7万円/㎡⇒約62.5億円
- 公立大学法人化10年目（R15年度）までに、優先度の高い施設から順次、改修対象施設の改修工事を実施

※RC:鉄筋コンクリート造、CES:鉄骨コンクリート造

6

6 大規模改修経費について

◆ キャンパスマップ



7

6 大規模改修経費について

◆ 大規模改修計画

(単位：億円)

施設名	事業費(注) (設計含む)	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度
講義棟 I・II	25.8億円	設計	←→ 8.6 8.6 8.6								
本部棟	17.5億円				設計	←→ 8.8 8.7					
図書館	6.2億円						設計	←→ 6.2			
体育館	4.7億円							設計	←→ 4.7		
厚生棟	4.6億円								設計	←→ 4.6	
学生会館	3.7億円									設計	←→ 3.7
合計	62.5億円		8.6	8.6	8.6	8.8	8.7	6.2	4.7	4.6	3.7

※ ←→ : 改修工事期間

(注) 事業費には姫路獨協大学がこれまでに実施した改修工事を考慮していない。事業費には設計費を含む。

8

7 財政シミュレーション（大規模改修経費含む）

（単位：百万円）

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
収入計（経常のみ）	2,627	2,844	3,045	3,265	3,346	3,431	3,380	3,330	3,283	3,234
支出計（経常のみ）	3,167	3,211	3,253	3,297	3,309	3,321	3,310	3,301	3,291	3,281
収支(収入計－支出計)(A)	△540	△367	△208	△32	37	110	70	29	△8	△47
大規模改修経費（B）	0	860	860	860	880	870	620	470	460	370
収支(大規模改修経費含) (A)－(B)	△540	△1,227	△1,068	△892	△843	△760	△550	△441	△468	△417

10年間の収支計

△7,206百万円